愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2023年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	専門演習Ⅲ		
担当者(Instructors)	木野村 嘉則	配当年次(Dividend year)	4
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

専門演習Ⅰ、Ⅱに引き続き、卒業論文・ゼミ論文の作成に取り組む。各自のペースで取り組むこととなるが、夏休み中に中間報告を行えるペース配分で進めていく。授業では経過報告を行うとともに、論文作成に必要となる技能習得を目指す。 なお、オンデマンド授業時の質問等の受付については、授業内に指示する。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	演習形式(含ディスカッション，プレゼンテーション)にて行う

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	ガイダンス	本講義を受講する上でのルールを確認する	□
第2回	現在の進捗状況の報告または研究計画の報告（1）	ゼミ論および卒業研究に向けた研究の進捗状況を発表する	□
第3回	現在の進捗状況の報告または研究計画の報告（2）	ゼミ論および卒業研究に向けた研究の進捗状況を発表する	□
第4回	レポート・ゼミ論の意義と留意点	なぜレポートやゼミ論を書くのかおよび、レポート作成時の留意点について担当者のプレゼンの後ディスカッションする	□
第5回	研究と学問における倫理的問題	研究を行う際に留意すべき倫理的な問題について概説する	□
第6回	調査の進捗状況の報告	ゼミ論および卒業研究に向けた調査の進捗状況およびデータの簡単な紹介を行う	□
第7回	結果の説明の仕方および図表の提示の仕方	研究の結果の示し方について解説する	□
第8回	文献レビューの作成	ゼミ論および卒業研究の執筆に向けて、関連した研究の成果をまとめる	□
第9回	研究目的および研究の重要性を説明する	ゼミ論および卒業研究にて取り組むテーマについて、先行研究を基に研究の重要性を説明し、目的に至るストーリーを説明する	□
第10回	調査方法の説明	ゼミ論および卒業研究の執筆に向けて行った調査について、他者が再現できるように文章化する	□
第11回	調査結果を基にした結論に向けたストーリーの作成	得られたデータと先行研究を基にした考察を行う	□
第12回	結論と目的の整合性の確認	考察によって得られた結論と研究目的の整合性についてディスカッションする	□
第13回	進捗状況の報告会（1）	ゼミ論および卒業研究の進捗状況を報告する	□
第14回	進捗状況の報告会（2）	ゼミ論および卒業研究の進捗状況を報告する	□
第15回	報告会の振り返り	ゼミ論および卒業研究の進捗状況の報告を振り返り、夏休み中の課題を明確にする	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

指定された回までにゼミ内での発表にふさわしい分量と内容のレポートの作成を進めることができるようにテキストや授業で用いる資料を予習してくる（2時間程度）。 授業時間外でも研究室を訪問する等して、適宜指導を受けながらレポートの作成を進めていく（2時間程度）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

毎回の授業にて、作成してきたレポートやレポート内容のプレゼンテーションに関して解説することでフィードバックを行う。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
思考力・判断力・表現力	◆ 2019人間健康DP2	設定した研究テーマにふさわしい研究方法にて調査を進め、得られたデータの解釈を行い、他者に伝わるようにプレゼンテーションを行い有益なディスカッションを行えるようになる

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			30%	70%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

各回の授業でのディスカッションに必要となる資料の作成およびプレゼンテーション

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	酒井聡樹『これから研究を始める高校生と指導教員のために』共立出版	978-4-320-00591-4
2	小林 雄一郎 著、濱田 彰 著、水本 篤 著『Rによる教育データ分析入門』オーム社	978-4-274-22591-8
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	田中喜代次・西嶋尚彦監訳『身体活動科学における研究方法』ナップ	978-4-931411-39-8
2	出村慎一『健康・スポーツ科学のための　Rによる統計解析入門』杏林書院	978-4-7644-1142-5
3		
4		
5		